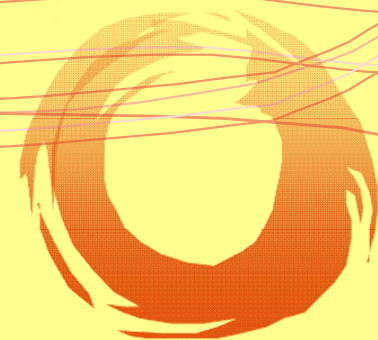


# 「結い」でつくる登別

大阪国際大学チームB

「ひと・まち・であう」プロジェクト



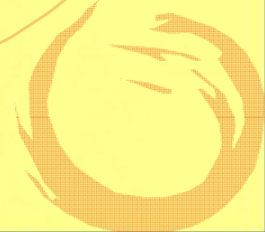
# 「結い」とは

- これまでは  
地域社会内における  
家と家とのつながりで行われる相互扶助
- これからは  
地域社会内だけにとらわれない  
人と人とのつながりで行われる  
世代間交流による助け合い



# 福祉のまちづくりの理想

- 地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくる
- まちづくりは住民の誰もが住みなれた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくる



# 問題提起(仮説)

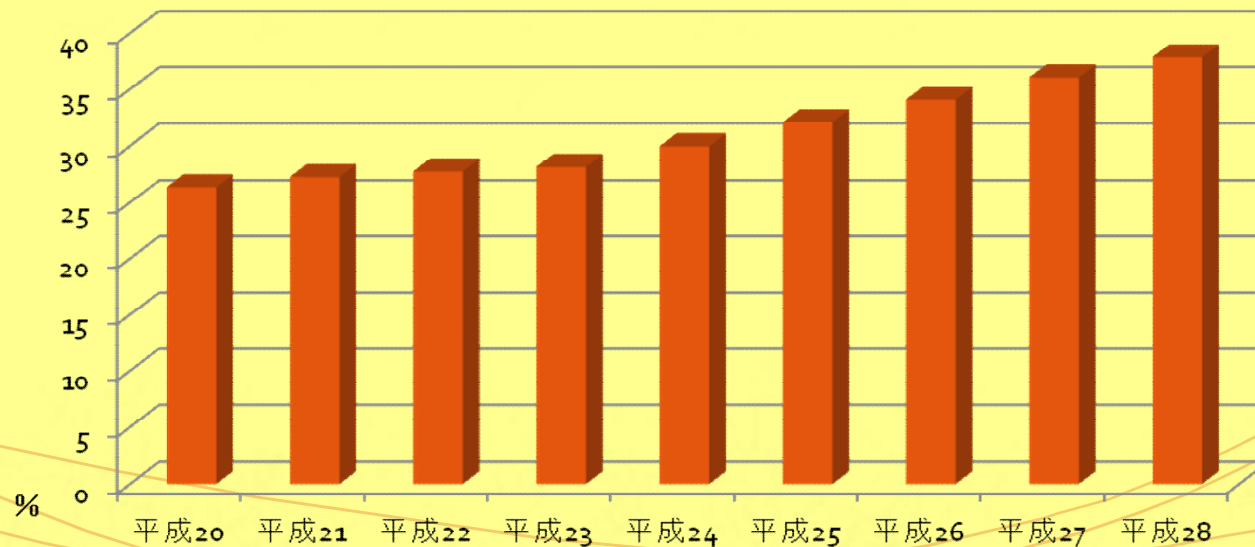
- 市民の誰もが安心して暮らせているのだろうか(?\_?)



# 福祉の現状

- 現在60～64歳の住民が5年後には高齢者となり、福祉について考えていかなければならない。

登別市における高齢化率

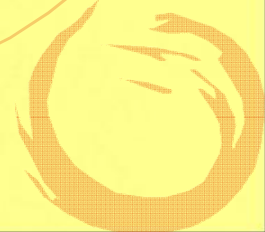


# 福祉問題の定式化

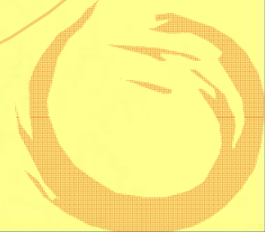
- 高齢者の単独世帯の増加＝孤独死
- 疾病の増加＝医療費の負担の増加



しかし！！



温泉！？





# 温泉の現状

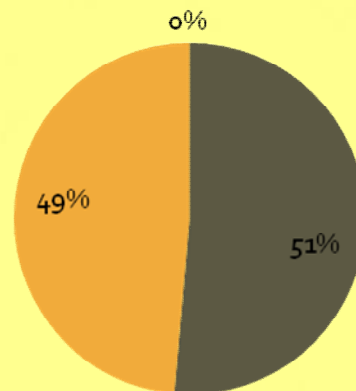
- 温泉利用者数

道内<道外…観光客には、魅力的

区内>区外…区外の方は身近ではない

平成22年度月別・前年比観光客入込調査

■ 北海道内 ■ 北海道外



- 評価…にっぽん温泉100選 2位

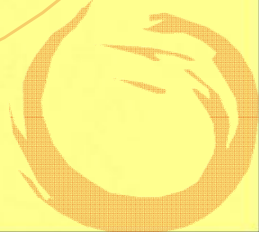
観光経済新聞社の記事を参照

# 調査の考察

- 観光客には魅力的であるが区外の市民にとっては身近ではないという結果が出た

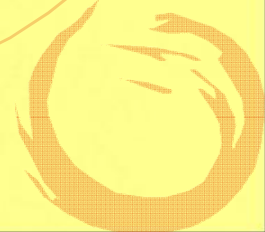


- 市民と温泉を結ぶ福祉という存在は希薄である



# 政策提案

- 目的：結い
- 資源：温泉
- 手段：温泉療法・足湯



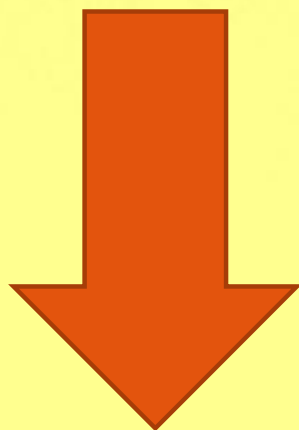
# 温泉療法による政策

- 温泉という資源を活用している事例
- 兵庫県湯村温泉…「リフレッシュパークゆむら」の源泉を利用した自然の中の温泉公園
- 大分県由布院温泉…温泉療法の効果で医療費が半減、介護費が軽減

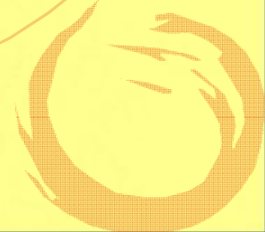


# 事例の効用

住民の健康増進を  
図ることができた

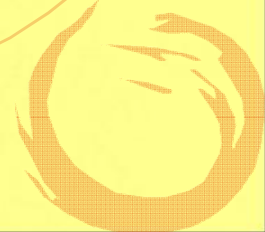


温泉と福祉の「結い」



# 具体例

- 登別温泉の各旅館の空き時間を利用
- 健康増進などを図る温泉療法を取り入れ  
事業を展開する



# 足湯による政策

- 総合計画…登別市内へ温泉をパイプで供給



- 登別市内各地区の公園を利活用

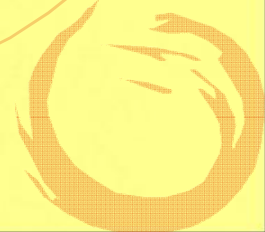


- 各公園に足湯をつくる



# コミュニティの形成

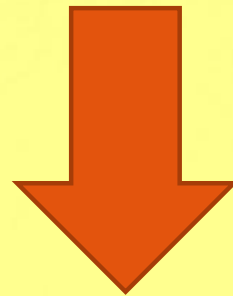
- 場所設定、建築などはすべて市民が行う
- 公園の管理、運営は区民自ら
- 管理、運営費用は区民自ら集める
- 管理運営委員会も区民自ら立ち上げる





# そうすると

- 公園づくりにもつながる
- 世代間交流につながる
- 各公園が市民のいこいの場になる



- 温泉のパイプラインが  
住民の心のライフラインへ

ご清聴ありがとうございました

